

# AIによる感情認識システム

臼田総合研究所が開発した「AIによる感情認識システム」は、最先端のAI技術を用いて、顔の表情や動きからリアルタイムで感情を認識・分析するシステムです。高度な画像処理アルゴリズムとディープラーニングモデルを活用し、さまざまな場面での人間の感情の変化を捉え、利用者に有益なフィードバックを提供します。このシステムは、映像データを基に感情を判別し、利用者に詳細な分析結果を提供します。

臼田総合研究所作成





# システムの概要

## 1 高度なAI技術

最先端のAI技術を用いて、顔の表情や動きからリアルタイムで感情を認識・分析します。

## 2 画像処理とディープラーニング

高度な画像処理アルゴリズムとディープラーニングモデルを活用しています。

## 3 多様な感情分析

さまざまな場面での人間の感情の変化を捉え、利用者には有益なフィードバックを提供します。

# システムの主要機能



## 感情認識機能

AIが映像から「怒り」「幸福」「悲しみ」などの感情をリアルタイムで判別します。ディープラーニングを基盤に、感情の微細な変化も高精度で検出します。



## 身体の動き認識

顔の表情だけでなく、体の揺れや目の動きなども同時に解析し、総合的な感情評価を提供します。



## 異常感知機能

特定の感情状態や異常な行動を自動的に警告し、適切なアクションを取るよう促します。



## 感情スコアリング

複数の感情指標から総合スコアを算出し、視覚的に表示することで、状況の全体像を簡単に把握可能です。



# デモ動画の紹介

1

## リアルタイム認識

カメラを通じてリアルタイムに顔を認識し、感情を解析するプロセスが視覚化されます。

2

## スコア表示

画面上に感情状態のスコアがリアルタイムに表示されます。

3

## 警告機能

特定の感情（例えば「怒り」や「不安」）が検出されると、システムが即座に警告を発します。


4

## 応用可能性

ビジネス、医療、教育、セキュリティなどさまざまな分野での応用可能性を示します。

# デモ動画の紹介



 [http://u-brain.com/DEMO/VGRIL\\_VIDEO\\_CAP\\_18.mp4](http://u-brain.com/DEMO/VGRIL_VIDEO_CAP_18.mp4) 

**AIによる感情認識システムの動画**

# システムの応用例

## 医療現場

患者の情緒状態をモニタリングし、ストレスや不安をリアルタイムで検出することで、迅速な対応をサポートします。特にメンタルヘルスケア分野での利用が期待されています。

## 教育分野

学生の感情変化を捉え、授業中の集中度や理解度を可視化します。教師が個々の生徒に合わせた指導を行うための参考情報を提供します。

## ビジネス・カスタマーサポート

顧客の感情を把握し、対応の質を向上させます。顧客満足度をリアルタイムに評価し、より良いサービス提供を実現します。



# 今後の展開

1

## 技術の高度化

感情の認識精度をさらに向上させ、より多様な感情や微細な表情の変化も検出できるように改良を続けます。

2

## IoTとの統合

医療機器やウェアラブルデバイスと連携し、リアルタイムの感情データを活用して個別化されたヘルスケアソリューションを提供します。

3

## グローバル展開

海外の医療機関や企業との連携を強化し、国際市場に向けた応用も視野に入れています。

4

## 感情データ活用の多様化

AIによる感情認識データを、ビッグデータ解析やマーケティングにも応用し、より精密な消費者分析を可能にします。

# 著作権情報

|      |                     |
|------|---------------------|
| 著作権者 | 白田総合研究所             |
| 年度   | 2024                |
| 権利   | All rights reserved |

